

4. 産業歯科保健部会

産業歯科保健部会は、日本産業衛生学会の中の4番目の部会として発足し、平成28年に10年目を迎える。設立には、歯科以外から発起人となられ九州の先生方が多く後押しをしてくださった。

産医大からは東 敏昭先生、堀江正知先生、森 晃爾先生、医部会と看護部会の設立にも関与されたという（故）高田和美先生、看護部会からは西田和子先生と、沢山のお力添えをいただいた。

設立当初の部会長は、孤軍奮闘で産業歯科保健を長年牽引してこられた藤田雄三先生

（元神戸製鋼）であり、数年前より現部会長の加藤 元先生（日本アイ・ビー・エム健康保険組合）が、元気いっぱい活躍されている。歯科疾患を予防することは、高齢社会のQOLと労働力の向上に繋がり、医療費の抑制にも寄与することが明らかとなってきている。今後積極的に産業歯科保健活動を展開していく意義は大きい。平成30年の特定保健指導では、歯科保健が組み込まれる計画のようである。今後一層、職種を越えて歯科保健の啓発を行い、産業保健の中でしっかりと機能する役割を果たしたいと思う。

（文責 山本良子）

